



沼津市の中心市街地、車中心からヒト中心のまちへと再編（続報）

ヒト中心のまちに再編する取り組みの一環として、各種の方針や計画の策定が進んでいます。以下、この先の10年程度で中心市街地をどう変化させるかを示す「まちづくりシナリオ」と、そのシナリオを動かすための「公共空間再編整備計画」および「都市空間デザインガイドライン」について、その概要をご紹介します。

[2020年3月策定・公表] 中心市街地まちづくり戦略

調査・分析

交通影響検証・歩行者回遊行動実態調査・空間特性分析

2022年5月
公表予定

まちづくりシナリオ

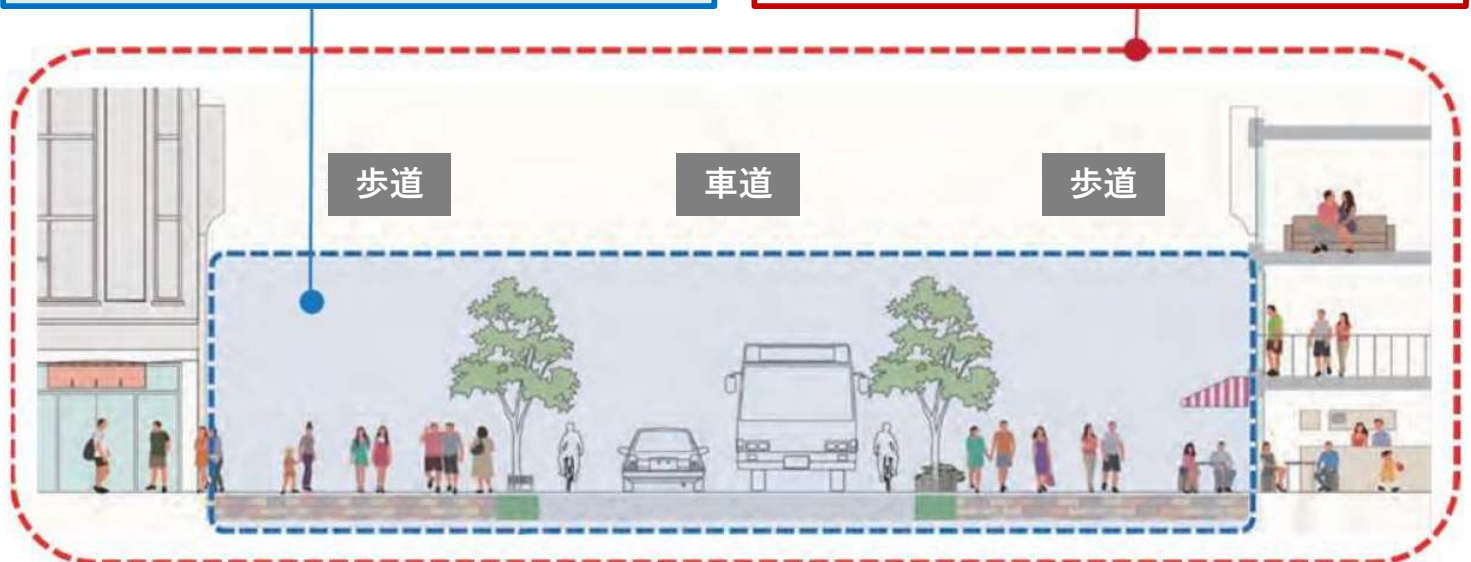
中心市街地で取り組むまちづくりの「実践する手順・施策・狙う効果」を描き共有

公共空間再編整備計画

- **沼津市**が取り組む中期までの公共空間再編に関する具体的なアクションプラン。
- 駅前広場の再編や、車空間の減少による歩行者空間の拡大と利活用空間の創出等、具体的な配置案を検討・検証事項とともに示している。

都市空間デザインガイドライン

- **民間**と**沼津市**が取り組む民間敷地・建物と公共空間を含むまちなみづくりのガイドライン。
- 空間を6つに分類(広場・シンボルロード・歩行者専用道路・生活道路A/B・駅まち環状)し、望ましい姿や実現のアイディア等を示している。



- この先の10年程度で、駅まち環状内での段階的な公共空間の再編を進めていきます。
- まずは「①イーラde南側 東西道路の車道の一部を歩行者空間化する社会実験(※)」と「②中央公園の利活用」に着手する予定です。
- 再編は、市民との対話・社会実験・効果検証のサイクルを重ねながら進めていきます。



①イーラde南側 東西道路の一部を歩行者空間化する社会実験(※)

②中央公園の利活用

凡例

- 広場
- シンボルロード
- 歩行者専用道路
- 生活道路 A
- 生活道路 B
- 駅まち環状
- 行政による空間再編整備予定箇所

駅前広場



シンボルロード



方向性とイメージ

- 駅前広場は、歩行者のための空間を広げます。
- 南口から南・東西に続くシンボルロードの車道を減少させ、歩行者空間の拡大や利活用できる空間の創出、自転車走行レーンの設置等を行います。

会場イメージ



※社会実験「OPEN NUMAZU 2022」

日程：4/6(水)～4/27(水) 8時～20時
場所：イーラde周辺

ヒト中心のまちへの再編を目指す取組の一環として、飲食物を提供する店舗の出店や自由に使えるイス・テーブルの設置がされます。是非ご利用ください。

